

平成24年6月20日
国土交通省九州地方整備局
武雄河川事務所

《お知らせ》アザメの瀬でコンクリート水路の自然再生化を行います ～自然再生化作業を住民、小学校、大学、行政と一緒に～

「アザメの瀬自然再生」については、住民、学識者、行政の協働による支援により、地元小学校の環境学習（田んぼの学習等）のフィールドとしても活用されています。

しかし近年アザメの瀬にある湿田横の水路において、水漏れのために湿田への用水機能が失われ、環境学習に支障をきたす状態となっていました。

このため緊急的にコンクリート水路を整備したところですが、アザメの瀬は従来から生き物の移動や景観にも配慮した整備を行っている区間であるため、住民、地元小学校、学識者、行政で検討を重ね、この水路を自然再生化する試みに取り組んでいるところです。

つきましては、作業の最終段階として小学生（5年生）もまじえて、下記のとおり実施します。

記

コンクリート水路の自然再生化作業

1. 開催日時：平成24年6月22日（金）午後1時20分頃
（小学生の到着時間により前後する場合あり）
2. 場所：唐津市相知町 松浦川アザメの瀬（別紙地図参照）
3. 内容：コンクリート水路に、石を敷設する作業
※同時にアザメの瀬湿田において田植えを実施
4. 参加予定者：住民（NPO法人アザメの会）、地元小学校（相知小5年生）、
大学関係（九州大学）、行政（武雄河川事務所）
5. その他：変更・中止の場合は、武雄河川事務所HPにてお知らせします。
(<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>)

問い合わせ先

国土交通省九州地方整備局 武雄河川事務所

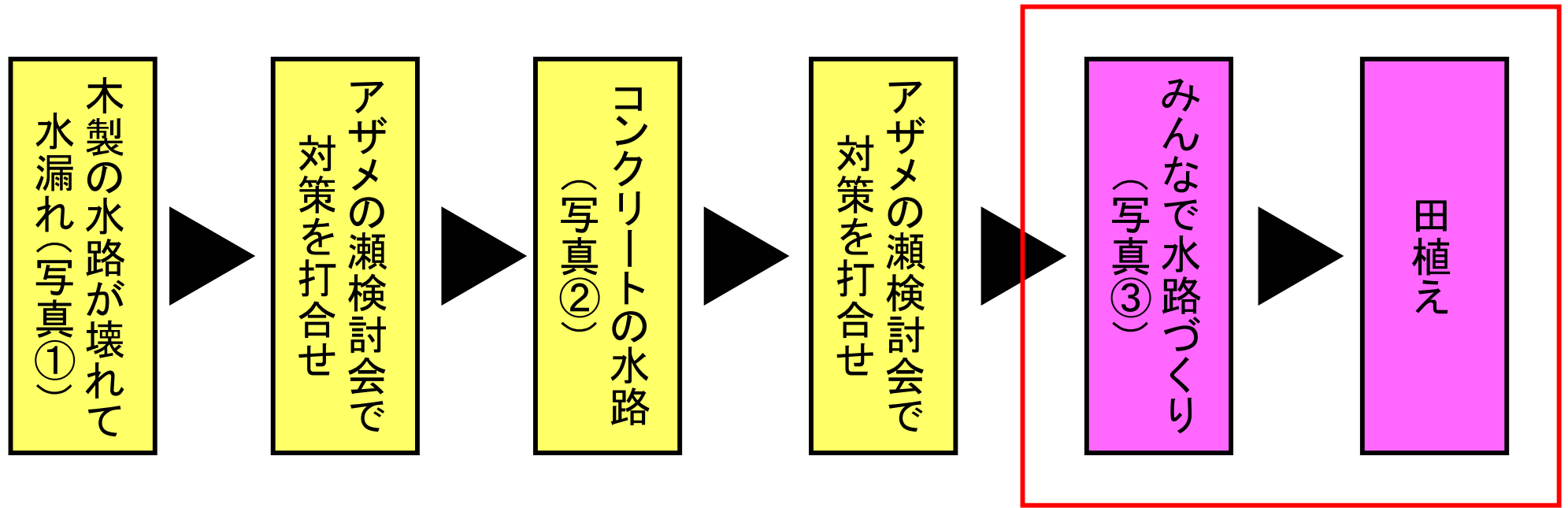
TEL0954-23-5175

技術副所長 野坂 正（内線204）

建設専門官 穴井 利明（内線405）

アザメの瀬における水路の自然再生化に向けた取り組み

～住民、小学校、学識者、行政により協働で実施～



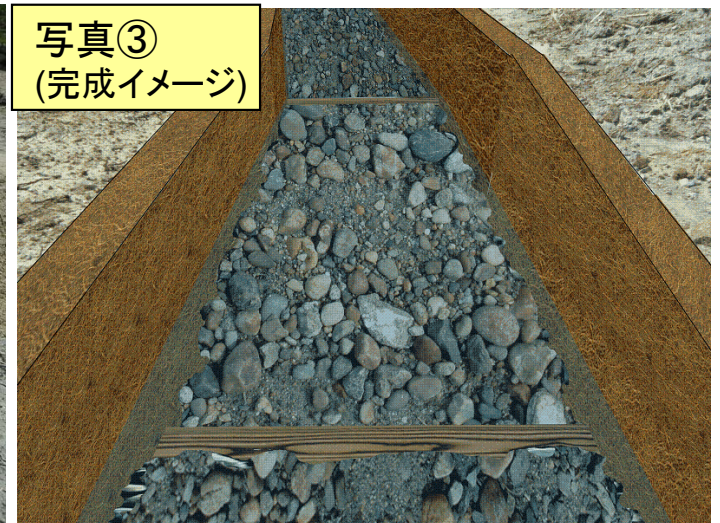
写真①



写真②



写真③
(完成イメージ)



アザメの瀬案内図



堤防沿い入り口看板

